

S.Steel

すてい~る

目次

● 各支部で「賛助会員との交流会」を開催	1
● 各支部で各種研修など社員向け行事を開催	3
● いま世界へ! 各社が取り組む海外展開事例—HASHIMOTO (THAILAND) Co.,LTD.	4
● 新副会長訪問 福原実晴 南海鋼材(株)代表取締役社長	5
● 新支部長訪問 碓井達郎 碓井鋼材(株)代表取締役	6
● 平成26年度特殊鋼販売技士2・3級合格者名簿	7
● ドイツ&チェコ特殊鋼関連業界視察研修のご報告	9
● 理事会・委員会報告	10
● 事務局だより・編集後記	裏表紙



一般社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号(鉄鋼会館)

TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395

ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>E-mail info@zentokkyo.or.jp

各支部で 「賛助会員との交流会」を開催

全特協の会員は、正会員と賛助会員によって構成されています。当協会の運営では正会員のみならず、多数の事業に賛同いただき、ご協力いただいている賛助会員の皆様なくして成り立つものではありません。そのため、全特協では各支部で毎年1回、正会員と賛助会員の交流を活発にし、相互理解を深めるために「賛助会員との交流会」を実施しています。

今年度も東京、大阪、名古屋の各支部で講演会や懇親会が行われ、正会員および賛助会員の各社による懇親と情報交換の場を設けました。

■東京支部

開催日時：平成26年7月17日(木) 開催場所：東京會館(東京都千代田区丸の内)

流通およびメーカー各社から約100名が出席。交流会に先立つ講演会では、鶴田流琵琶奏者の熊田かほり氏による「古典の琵琶を味わう」を開講した。2009年第46回日本琵琶楽コンクールでは最年少で第1位を獲得したほか文部科学大臣奨励賞や日本放送協会会長賞、日本琵琶楽協会会長賞に輝くなど受賞歴多数の熊田氏から、琵琶という楽器の成り立ちや奏法の特徴などを解説していただきながら、平家物語で有名な「祇園精舎」や勧進帳の「安宅」、織田信長の最期を語る「本能寺」など5曲を聞いた。

講演会・演奏会の後は懇親会を開催。6月の支部総会で選出されたばかりの碓井達郎新支部長(碓井鋼材・代表取締役)のあいさつの後、ご来賓の富永真市様(山陽特殊製鋼・常務取締役東京支店長)のご発声で乾杯。碓井新体制を祝う活気にあふれる懇談が行われた。



■ご来賓：富永真市様あいさつ



祇園精舎の「驕れる者は久しからず」ではありませんが、現在の情勢をしっかりと見極めながら生産、デリバリーとにもよい仕事をして顧客の信頼を得なければいけません。本日は東京支部・碓井丸の船出です。新支部長は前任の湊さん、竹内さんの功績に触れていましたが、ぜひ碓井支部長もご自身の功績による新たな琵琶の物語を奏でてください。

■碓井達郎支部長あいさつ



前任の湊氏、その前の竹内氏の多大な功績を振り返ると、東京支部長は私には過分すぎる任務だと身の引き締まる思いでいます。しかし、幸いにして副支部長、担当委員の方々や林専務理事はじめ、チームワーク抜群の事務局のみなさんなど、頼りがいのあるメンバーばかりです。そのお力を借りながら、アクティブな支部活動を展開したいと考えています。

■大阪支部

開催日時：平成26年11月12日(水) 開催場所：ヒルトン大阪(大阪市北区梅田)

第1部は女優の菊池桃子氏による講演「人生が楽しくなる、大人の学び方」を開講した。写真撮影とともに講演内容の掲載はNGとのことだったが、アイドル時代と変わらない話しぶりと魅力で聴講者を魅了した。

第2部の交流会は福原実晴支部長のあいさつの後、賛助会員を代表して榮山博之氏(山陽特殊製鋼・大阪支店長)の乾杯発声でスタート。正会員・賛助会員合わせて約80名の出席者による活気あふれる懇談の後、高木博郁氏(愛知製鋼・大阪支店長)の「全特協の数々の事業の中でも特に人材育成は、豊富なメニューで社員が成長し、会社に貢献している。これからもこれらの施策を実行して特殊鋼業界、会員会社の繁栄につなげられるよう、賛助会員も正会員と一緒に貢献したい」とあいさつして中締めとなった。



■ご来賓：榮山博之様あいさつ



菊池桃子さんの講演を聞き終え、感じたことは、入社してから飲みニケーションと叱咤激励でずっと突っ走ってきた私ですが、改めて学び直しをやっていきたいと思いました。今日、ご参加された方も学び直しを噛みしめて明日からがんばれば、明日からまたいい人生、会社生活もできるのではないのでしょうか。

■福原実晴支部長あいさつ



法人発足時の会員数は380社だった全特協も現在は257社まで減少。協会収支にも影響の大きな会員数ですが大阪支部は今年会員を3社増やし、正会員・賛助会員とも全国トップです。今後は岡山、広島、山陰、四国などの支店等も視野に入れて新規会員増を図りたい。名称も大阪支部から西日本支部への変更も検討しながら来春には説明会を設けたいと考えていますので、ご支援をお願いいたします。

■名古屋支部

開催日時：平成26年9月3日(水) 開催場所：東京第一ホテル錦(名古屋市中区錦)

正会員・賛助会員各社70名参加の下、第1部では各部長より平成26年度上半期の事業報告が行われた。続く第2部では文字職人・杉浦誠司氏による講演会「夢：ありがとう」を開催。家電量販店店員からはじまり、塾講師、ドラッグストア店長、保険営業、保険代理店経営など、さまざまな仕事を経験しながら自分探し、夢探しを続けていた杉浦氏が、ある日夢の中で繋がったという、平仮名の「ありがとう」と漢字の「夢」。平仮名を組み合わせ漢字をつくる「めっせー字」生みの親として創作活動が続ける杉浦氏に実演も交えていただきながらの講演となった。

第3部の交流会は、賛助会員を代表して山中敏幸様(愛知製鋼・執行役員)によるあいさつでスタート。講演会で実演された杉浦氏の「めっせー字」が会場でオークションにかけられるなどの催しもあり、正会員・賛助会員との交流が深められた。



各支部で 各種研修など社員向け行事を開催

■大阪支部 「社員交流・活性化大会」

開催日時：平成26年10月22日(水) 開催場所：ホテル日航大阪(大阪市中央区西心斎橋)

毎回、さまざまな趣向が凝らされている社員交流・活性化大会の第11回目は、ホテル日航大阪の最上階スカイテラスで夜景を眺めながらディナーを楽しんだ。冒頭、井上寿一・経営効率化部会長(井上特殊鋼・代表取締役社長)が「今年はついに参加者が100人を超える大規模な会になりました。これまでの開催でも、たぶんトップ3に入るのではないかとあいつつ。続いて福原實晴支部長(南海鋼材・代表取締役社長)が「円安効果で景気もよい感じになっており、円水準がこのまま続けば来年も再来年も期待できそうです。全特協で女性がこれだけ多いイベントはほかにありません。ごゆっくりお楽しみください」などとあいつつして乾杯の発声を行った。その後は、食事をとりながら旅行券など賞品10個を用意した抽選会を開催。参加者同士、サイコロやクジ、ジャンケンなどのにぎやかに賞品を争った。さらに、フジロックフェスティバルにも出演したことがある「ロックンタスケロール&ザ・キャプテンスウィング」のライブもあり、会員各社の社員交流が盛大に行われた。



■名古屋支部 「中堅社員研修講座」

開催日時：平成26年10月14日(火) 開催場所：愛知県産業労働センター・WINCあいち(名古屋市中村区名駅)

毎年恒例の研修講座に今年は32名が参加。研修テーマは「仕事の基礎徹底講座～鉄は熱いうちに打つ、社員は若いうちに鍛える!～」と題して、新入社員研修に近いビジネスにおける基礎を再確認し、かつ新しいビジネス情報を活用した情報の共有化と営業・販売店動向の向上につなげることを主眼にメニューが組まれた。名南経営コンサルティング・山田亮太講師による研修内容は、「組織のルールと好ましい報連相」「情報活用力とビジネスメールの基本」「仕事の基本徹底と事前段取り力のアップ」など。参加者を6班に分けてオリエンテーションやグループ討議・演習などが行われ、来年2月20日にフォローアップ研修も予定されている。



■九州支部 「工場見学会」

開催日時：平成26年9月2日(火) 開催場所：日産自動車九州工場、TOTOサニテクノ中津工場

例年どおり九州ステンレス流通協会との共催による合同社員研修会は、これまで講演会が中心だったが今年は全特協九州支部が全面的に企画運営して、初めての工場見学会を開催した。両団体から37名の参加者を得て向かった先は、ティアナ、ムラーノ、エクストレイル、ノートなどを生産し、約6割が輸出向けの「日産自動車九州工場」(福岡県京都郡苅田町)とトイレの便器、掃除用洗面台を生産する「TOTOサニテクノ中津工場」(大分県中津市)。両工場の勤務体制や生産加工ラインの様子など、それぞれ業種、素材の異なる現場を見学することで大いに見識を高めた。



[シリーズ連載] 第5回 橋本鋼株式会社 いま世界へ！各社が取り組む海外展開事例

ここ数年来の自動車部品などメーカー各社の海外生産へのシフトや輸入鋼材の増加により、特殊鋼の国内需要が頭打ちになる中、総合商社だけでなく特殊鋼流通各社も規模の大小を問わず、海外に拠点を開設する動きが加速している。海外展開にあたり、留意点は何か？

シリーズ連載第5回は、大阪市に本社を置く橋本鋼のタイ現地法人設立の経緯と20年にわたる歩みをハシモト・タイランド社長の井町実氏にお聞きした。



HASHIMOTO (THAILAND)
Co., LTD
Managing Director
井町 実

顧客の営業アウトソーサーとしてタイで20年の歴史 アジアの先の世界までグローバルな志向は無限

■顧客の営業アウトソースを軸に

タイに現地法人を設立

橋本鋼は1995年3月にタイに現地法人ハシモト・タイランドを設立。すでに20年近くの海外での実績を有している。

設立の経緯は、1991年に設立された磁性材料メーカー・ダイドー電子の国内流通(セールスエンジニアリング)を橋本鋼が担当したことにはじまる。ダイドー電子と客先の電気機器メーカーをつなぐ開発営業を行う中でエンドユーザーが海外展開することになり、そのためダイドー電子がダイドーエレクトロニクスタイランドを開設。エンドユーザーへの営業窓口は引き続き橋本鋼が務めることになり、バンコクに事務所を開設することになった。

1991年に橋本鋼に入社した井町氏は2003年5月にタイへ赴任し、2005年9月に前任者からタイ現地法人の代表を引き継いだ。「直接の顧客は営業部門をもたずに海外に出た。工場は生産するだけというわけです。そのため、当社がエンドユーザーとの間をつなぐ、あるいは新規開拓する営業アウトソーサーとして海外に出たのです」

日本国内の磁性材事業の商流を顧客とともに海外で展開したというわけだ。

その後、同じ事業でフィリピンにもデリバリー業務を行う必要が生まれたため、2000年にはタイ法人の駐在事務所を同国に開設。さらに、2011年にはタイでの鋼材販売のためにテーパラック地区に倉庫を開設した。

「それまでは単発のため、都度仕入れていた鋼材部門がある程度の量になったため在庫販売をはじめました」

現在、タイ現地法人の事業は磁性材の営業アウトソーシングと鋼材販売の2本立て。従業員数は日本人3名と現地人スタッフ12名で、バンコク事務所が物流やBOI

(タイ投資委員会；外資企業向けにさまざまな産業奨励策を行っている)対策を行うほか、アユタヤの客先工場に4名、フィリピンに1名という配置になっている。

■日本での研修も活用しながら

ローカルスタッフを教育

現地法人の立ち上げから現在に至るまで苦労したのは、やはり現地スタッフとのコミュニケーションだという。

「お互い母国語でない英語を使っている業務なので、内容が理解できるまでしっかりと話し合わないといけません」

ビジネススタイルの違いも大きく、当初はYESかNOしか答えがない状態だったことにもカルチャーの違いを感じさせられた。

「現状、対応困難なことでもお互いの妥協点を探り合いながらビジネスをつかっていくという文化に乏しいんです。スタッフ教育には苦労しました」

これは、ハシモト・タイランドのスタッフに限らず、客先のローカルスタッフにもいえることで、「気がつけば担当者間で揉めているということはしょっちゅう。いま対応できなくても半年先、1年先にビジネスをつなげようという意識付けをするのが大変でした」

そのため通常の教育以外にも、日本的な感性を知り、日本的なビジネススタイルを理解してもらうために、現地スタッフには勤続5年以上で日本研修を行っている。

「来日したら本社にも来てもらいますが、どちらかといえば福利厚生を兼ねた研修です。約1週間の滞在で、観光も含めて日本の文化や雰囲気を感じてもらい、日系企業で働くことの意識を高めてもらいたいという狙いです」

新人以外のメンバーは、すでに2回目

の日本研修の時期にさしかかっており、

定着率などへのモチベーションアップにも貢献しているという。

■客先動向次第ながらアジア以西も

抵抗感は無

海外進出から約20年になろうという橋本鋼だが、立ち上げ当初から現状はどのように変化しているのだろうか。

「以前は、海外の顧客に日本製品をいかにして供給するのがメインと思われてきましたが、現在は日本製にこだわらずとも価格と品質、流通性などのバランスがとれたものが求められます。その意味では、アジア圏に進出している日系企業の要望に応えやすい情報拠点としてタイ現地法人は実績をあげており、通常取引についてはローカルスタッフのみで運営できるように成長しています」と手応えも上々のようだ。

今後の海外展開はどのように考えているのだろうか。

「営業アウトソーシングを基本にする当社としては、お客様の動向次第というのが正直なところ。近年、発展のめざましいインドネシアをはじめベトナム、カンボジアなど5年以内に動きだしそうなアジア圏については、当社がお客様に貢献できるのであれば積極的に対応していきたいですね」

さらにインドよりも西の世界にもまったく抵抗感はないと、井町氏は語る。

「トルコを生産地とする動きはメーカー間でも語られています。ヨーロッパまでつながる可能性すらありますよね。人材の確保、教育という課題はありますが、大きなチャレンジとしては夢をかき立てられますね」

タイでの20年の実績がアジアの先の世界まで、橋本鋼の海外事業マインドは驚くほどの広がりがありそうだ。

新・副会長訪問

南海鋼材株式会社
代表取締役社長 福原實晴

信念はボトムアップ ぜひ、皆様の心の声を聞かせてほしい



この6月の役員改選で、大阪から新副会長に選任された福原實晴氏から、協会運営に関する抱負などを寄稿いただいたので紹介する。

～新副会長としての抱負～

会長・副会長のトライアングルで躍動的な執行部に

本部副会長として最も重要な仕事は、佐久間会長の意思を尊重し、湊副会長と共に会長の思いを実現することだと思います。そのためには、会長・副会長の意思の疎通を図り、バランスのとれたトライアングルを形成することに専念したいと考えています。

副会長として評論家で終わることなく実行者でありたいと思っており、その点では佐久間会長・湊副会長は並外れた実行力をお持ちなので、協会の改革や新たな展開を図れると信じています。

会員が心置きなく意見が言えて賛同が得られれば、実現に向けて動き出すという躍動的な執行部でありたいと思います。

～今後の協会のありかた～

会員増と新たな収益事業の展開

協会運営では収支の改善が一番の仕事です。事業には費用が掛かり、特に魅力ある事業には多くの費用が必要になります。会員に喜ばれる事業を展開するには収益が必要です。

そのためには、まず会員・賛助会員の会員数を増やすこと。東日本は湊副会長、中日本は佐久間会長、西日本は私が先頭に立って活動しなければなりません。

例えば、大阪支部では担当地域を西日本にまで拡大して広島・岡山地区のハガネ屋さんに入会していただ

く努力をすることが会員数拡大につながるのではないかと考えています。

次に、従来の販売技士制度だけに収益を頼るのではなく、会員会社が求める新たな教育制度を導入する。

例えば、新入社員・中間管理職の教育制度やビジネス文書(メール文や対策書など)の作成教室など、会員会社が個別に社員教育をするよりコスト面でメリットがあり、また協会の収益にも繋がる教育制度を確立するなど、有意義な事業、魅力のある行事を続けるために教育制度の拡大が必要です。

～本部・支部で描く今後の活動～ より総合的な文化活動の模索

協会全体として、文化的な活動をもっと広げていければ楽しいのではないかと考えています。

大阪支部では毎年「クラシックコンサート」を実施しています。これも文化的な催しですが、もっと総合的に文化を楽しめる行事ができればと思っています。例えば、全特協文化祭などやってみたいですね。

会員会社の社員さんの趣味(絵画・習字・工作など)や特技(民謡・ダンス・楽器演奏など)を発表できる場を提供するのも文化的で面白いのではないのでしょうか。高校や大学の頃にわくわく楽しめた文化祭を再現できれば面白いですね。できるだけ多くの人が参加できる場を提供して、集まった人たちがまた新たな趣味に目覚めるようなイベントを催し、家族で参加いただければ最高です。

～会員各社にメッセージ～

友でありライバルの絆を深めたい
まずは、会員の皆様には協会の行

事にできるだけ参加してほしいということです。そして、会員同士の懇親を図り、信頼関係を築いて欲しいと思っています。

全特協は、当然ながら同業者の集まりです。お互いを理解しあえる友であり、またライバルでもあります。時には市場でシェア争いを展開することもあるでしょう。しかし、戦争ではありません。相手の存在を認め、相手の尊厳を傷つせず、共栄共存することが大切です。また、お互いに材料を融通し合い、機能を活用することも事業の発展に繋がります。決して戦いではないということを理解すべきです。お互いが切磋琢磨して更にお客様に求められる流通に進化していくことが、企業の存続に不可欠です。その意味では、お互いの信頼関係を深め、市場を荒らさずに次世代の後継者にバトンを渡すこと。会員同士の懇親が信頼関係を深め、業界に秩序とマナーが宿ると私は信じています。

私は大阪支部長として7年間、この信念を持ち続け努力してきました。少なくとも大阪支部ではこの信念を大切に守ってほしいと思っています。

最後にお願ひすることは、「皆様の心の声を聞かせてほしい」ということです。マンネリ化や時代にマッチしていない事業もあるでしょう。もっとタイムリーに事業をやらなければいけないこともあるでしょう。

ボトムアップは私の信念です。諦めずに意見を聞かせてください。過半数以上の会員様の賛同が得られれば協会運営を見直し、また事業の転換を図ります。現体制の役員なら必ず実行できます。是非、皆様の声をお待ちしています。

新・支部長訪問

東京支部

碓井鋼材株式会社
代表取締役 碓井達郎

斬新で楽しいで参加者アップを さらに公益性も意識した事業展開を



■湊前支部長との浅からぬ縁で後継支部長に就任

この6月の役員改選期で、6年間東京支部長を務めた湊義明前支部長(野村鋼機・代表取締役)の後を受けて新支部長に選任された碓井達郎氏。1964(昭和39)年6月生まれだから50歳を迎えたばかりでの就任となり、一気に若返りがすすんだ東京支部の新体制がスタートした。

支部の役員を約10年間務め、平成20年度からは協会本部理事にも就任していた碓井氏。今回の支部役員改選でも湊氏からたつての指名で後継支部長となった格好だ。

「湊さんとは親子2代にわたる付き合い。全特協以外の業界の枠内でも常に先輩として兄事してきた間柄です」と、この間の経緯を語る。

野村鋼機と碓井鋼材は共に構造用鋼をメインに扱い、浦安鉄鋼団地に拠点を置く、同業者としても近い存在だ。また、共に先代社長の急逝にあい湊氏が慌ただしく社長に就任したときは、碓井氏の父君英二氏が陰日向となって野村鋼機との関係も深まり、その英二氏が1994(平成6)年に58歳で急逝された折には、恩返しとばかりに社長就任前後の碓井氏をサポートし続けた。

「親子2代で半世代ずつ違う組み合わせです。支部活動で常に引き上げていただき、長年アドバイスを受けてきたのも湊さんから。そんな人から、『じゃ、次は頼むよ』と言われれば断り切れませんよ」と苦笑いする。

■他団体と協同して意外性ある事業を次々と展開

そのように新支部長就任の経緯を

語りながらも、就任後の碓井支部長の事業への取り組みは活発だ。

9月には内外交流部会主催の講演会とは別に、浦安鉄鋼団地協同組合、本所鐵交会それぞれの主催による講演会に相乗りする形で参加。1か月で3本の講演会に会員を案内している。うち一回は柔道元世界王者・篠原信一氏によるもので、「浦安なので地の利は少し悪いものの相乗り効果で有名なトークをコストパフォーマンスよく聞いてもらえたのではないかと参加者の反応もみて手応えを感じている。

前々任の支部長だった竹内誠二氏(竹内ハガネ商行・代表取締役社長)が発案したキャッチフレーズ「入っていてよかった全特協、参加してますますよかった全特協」を、基本コンセプトとして引き継いでいきたいという碓井氏だが、具体的な取り組みとしては参加率をアップさせる新たなインパクトある事業を企画しなければいけないと考えている。

「歴史と伝統のある事業も大切ですが、ある意味でマンネリ感はある。参加者も限られてきています。そこで、斬新で新しい層から注目を集めるような事業となるが予算の問題もあります。たとえば、数年前に行った東京スカイツリー見学などの福利厚生の行事を春先に開催することで多くの参加者を集められないかなどと考えています」

■柔軟な発想でさまざまな可能性を探ってみたい

誰もが楽しめて、参加率もアップする事業のほかに全特協本来の趣旨である公益性ということも合わせて

考えなければいけないと感じている。

「同業者同士の情報交換や懇親ばかりでなく、“特殊鋼文化の普及”というテーマを掲げた事業です。これが、難しいところですが浦安鉄鋼団地のイベントに相乗りして特殊鋼の情報を発信するとか、浦安をはじめ東京地区の小中学校、高校と協力して、たとえば工場見学に来てもらうなり、かつてのメタルアート展のように生徒・学生に工作などの製作を促してみるなど、地域と連携しながら特殊鋼文化の普及・啓発ができないだろうかということです」

まずは、参加率向上のための事業展開を第一に来年度ははじめごろまでに魅力的な事業を運営委員ともはかりながら検討していきたいという碓井氏。収支面では他団体の魅力的な事業との共催も視野に入れながら事業面でのコストパフォーマンスをアップさせる。そして数は少なくとも全特協を広く社会にアピールできる公益事業の展開。この3本柱を運営の要にして支部運営を検討していきたいというのが当面の碓井新体制の取り組むテーマになっている。

「それら効果で、とにかく参加者数を上げていきたいのが東京支部のこれからの目標です。その上で新規会員の加入につながれば最高です」

“ポジティブ志向と笑顔の対応”を心掛けて一年を通じてサーフィンに出かけるアクティブな碓井氏。その行動力から東京支部の新局面を切りひらいてくれることを期待したい。

平成26年度 特殊鋼販売技士2・3級合格者名簿

平成26年度 特殊鋼販売技士2級合格者名簿

特殊鋼販売技士2級講座は次の各支部で開講し、平成26年10月23日(木)検定試験を実施いたしました。

講師各位の採点結果にもとづき平成26年11月5日(水)特殊鋼販売技士検定試験委員会で合否判定を行い下記の合格者数が決まりました。

支 部	受験者数	合格者数
東 京	84	70
大 阪	66	65
名古屋	75	67
東 北	10	10
静 岡	8	8
広 島	1	1
合 計	244	221

成績優良者

[東京支部]	合計7名
井口みゆき	下村特殊精工(株)
中村 清貴	中川特殊鋼(株)
[大阪支部]	
杉下 信	大洋商事(株)
[名古屋支部]	
堀田 真由	(株)三悦
岩河 晃生	下村特殊精工(株)
高橋 幸祐	(株)大同分析リサーチ
[静岡支部]	
中島 隆博	佐久間特殊鋼(株)

東京支部

天野 陽	青山特殊鋼(株)
前澤 智幸	〃
上平 誠之	秋山精鋼(株)
松井 大輝	浅井産業(株)
青野 暢	〃
松島 桂子	〃
井本 貴之	伊藤忠丸紅特殊鋼(株)
天野 光貴	井上特殊鋼(株)
植田 真司	〃
加藤 尚彦	〃
林 飛峰	インターナショナルアロイ(株)
上代 貴之	(株)UEX
本多 将洋	〃
疋田 智彦	扇鋼材(株)
外口絵理子	高周波精密(株)
西島 努	佐藤商事(株)
関水 健太	〃
大貫 倫和	〃
押田 健児	〃
鈴木 建也	〃
富塚 孝之	〃
水澤 広隆	〃
岩田 純平	山陽特殊製鋼(株)
後藤 太	〃
吉澤 裕規	〃
仲田 勇樹	下村特殊精工(株)
井口みゆき	〃
伊藤 洋介	城北伸鉄(株)
石川 卓実	住友商事(株)
村口 昌弘	〃
相原 慶多	住商スチール(株)
若森 洋有	第一鋼業(株)
後藤 洋介	第一熱処理工業(株)
井上 富広	大同興業(株)
川瀬 慎吾	〃

白石 晃一	〃
馬渡 太郎	〃
服部 倫和	大同DMソリューション(株)
佐々木 聡	〃
富田 俊	大同特殊鋼(株)
滝澤 知也	大洋商事(株)
綱木 雅慎	東海鋼鉄(株)
永田 智明	東京ハガネ(株)
中村 清貴	中川特殊鋼(株)
山本 直志	〃
中川 裕雅	〃
新木 勇哉	〃
太田 萌美	〃
甲賀 太一	〃
伊藤 欣司	ノボル鋼鉄(株)
伊藤 匠	〃
今井 里美	林精鋼(株)
湯治 大幸	〃
佐藤 祐介	日立金属アドメット(株)
天本 瞳	日立金属工具鋼(株)
室井 直之	藤田商事(株)
宮内 直也	(株)ブルータス
石浜 好二	ボーラーウッデホルム(株)
小田原孝典	三菱製鋼(株)
角田 大樹	(株)メタルワン特殊鋼
脇田 高志	〃
坂本 啓太	〃
漆原 陽介	〃
山下 芳毅	〃
佐藤 豪	〃
林 悠	〃
伊藤 友一	〃
山崎 耕平	〃
鈴木 文章	〃
石黒 光平	(株)ヤマコー

大阪支部

猪川 晋平	イカワ鋼材(株)
小野 貴洋	井上特殊鋼(株)
中田 裕司	〃
梅西 智美	〃
阿古 歩	〃
安井 大揮	〃
岡崎 勝義	植田興業(株)
國吉 康介	扇鋼材(株)
澤 俊和	大阪精工(株)
向 紗往里	〃
川村 祐佳	岡谷鋼機(株)
田原 誠也	北島鋼材(株)
田中 淳也	木ノ本伸線(株)
和田 祐	(株)神戸製鋼所
中野 慎也	〃
小久保和哉	〃
辻 清孝	(株)菰下鋁断
藤本 信一	〃
山下 賢太	〃
徳田 裕行	櫻井鋼鉄(株)
谷口 直人	佐藤商事(株)
本山雄一郎	〃
辻 融	三利特殊鋼(株)
花岡 猛文	三和特殊鋼(株)
丹下 慶一	JFE商事(株)
太田 貴文	清和鋼業(株)
大串 浩平	大同興業(株)
大澤 直樹	大同特殊鋼(株)
服部 広幸	〃
後藤 俊恵	〃

桐山 雄介	〃
穴見 勝	大博鋼業(株)
杉下 信	大洋商事(株)
近藤竜太郎	辰巳屋興業(株)
尾藤 伸大	(株)天彦産業
北川 陽平	(株)トキワ商会
呂 維超	中川特殊鋼(株)
大升 照喜	(株)西鋼
後藤 祐紹	日清鋼業(株)
森田 英季	日鉄住金物産(株)
藤本 有磨	〃
木田 要	日鉄住金物産特殊鋼西日本(株)
佐伯 和彦	ハクロスチール(株)
清水 隆裕	白鷺特殊鋼(株)
石井 拓也	(株)バジフィックソーフ
伊藤 彰恵	林田特殊鋼材(株)
葛原 飛鳥	〃
莊司 健太	(株)阪神メタリックス
神谷 俊毅	〃
金 賢雄	〃
藤田 将志	〃
坂田 豊彦	日立金属(株)
佐野 元輝	(株)不二越
桑山 真一	古池鋼業(株)
藤戸 達也	平和鋼材(株)
北原 智広	(株)堀田ハガネ
河角 直紀	〃
鶴岡 幹	ボーラーウッデホルム(株)
筑広 章	松井鋼材(株)
畑山 哲也	(株)メタルワン特殊鋼
松山 莊司	モリテックスチール(株)
谷口 直義	山崎鋼鉄(株)
西崎 勇太	陽鋼物産(株)
前原健太郎	理研製鋼(株)
杉下 正和	菱光特殊鋼(株)

名古屋支部

林 達也	愛鋼(株)
仮 高広	浅井産業(株)
高橋 駿介	〃
三木 元親	〃
宮原 陵	〃
後藤 章之	ウメトク(株)
鈴木 佳祐	〃
佐竹 将志	(株)岡谷特殊鋼センター
竹内 俊二	小木曾工業(株)
角田 陽祐	〃
渡部 健次	〃
木之下 智	加藤鋼材(株)
川北 純平	クマガイ特殊鋼(株)
土本 智行	グリーンスチール(株)
小澤 賢祐	佐久間特殊鋼(株)
原田 剛	〃
真壁 晴香	〃
山田 拓	〃
垣内 良太	佐藤商事(株)
二村 智美	(株)三悦
堀田 真由	〃
岩河 晃生	下村特殊精工(株)
日高 健詞	鈴豊精鋼(株)
酒井 雅哉	鈴秀工業(株)
鈴木 秀貴	〃
高田 侑司	〃
西川 倫正	〃
横井 藤樹	〃
木下 俊治	大同興業(株)
河北 祐樹	大同特殊鋼(株)

佐藤 友佳	〃
八尋 龍太	〃
川上 雄大	〃
安井 直樹	〃
今井 智之	(株)大同分析リサーチ
小菅 園子	〃
高橋 幸祐	〃
飛松 敬寛	〃
松島 拓	大和興業(株)
黒柳 潤	(株)タカギスチール
安藤 里乃	孟鋼鉄(株)
澤村 淳	〃
田尻 康弘	〃
立松 祐一	〃
三浦 秀夫	〃
若山 康弘	〃
朱 宇	中川特殊鋼(株)
高山 健	〃
近藤 将司	中島特殊鋼(株)
成田 将平	〃
夏目 裕史	名古屋特殊鋼(株)
秦 信之	南海鋼材(株)
高橋 拓矢	日本金属(株)
大島 朋子	(株)ハヤカワカンパニー
二宮 正樹	〃
諸橋 貴明	〃
松本 祐季	阪和興業(株)
藤井 教友	日立金属(株)
浅井 龍	日立金属アドメット(株)
松本 亮太	(株)平井
竹川 美香	前田鐵鋼(株)
岩月 成祐	宮崎精鋼(株)
塩谷 弘人	〃
鈴木 佳奈	〃
郡司 学	(株)名岐
五十嵐英行	(株)メタルワン特殊鋼
愛甲 圭介	陽鋼物産(株)

北関東支部

黒澤 伸平	佐藤商事(株)
田淵 重栄	〃
佐藤 拓也	(株)竹内ハガネ商行
佐藤 貴宏	〃
斉藤 美昭	東北特殊鋼(株)
木村 健洋	ノボル鋼鉄(株)
西畑 和幸	〃
小林 慎悟	〃
菅野 政巳	〃
古瀬 光司	日立金属工具鋼(株)

静岡地区

今田 雄也	青山特殊鋼(株)
南 哲矢	井上特殊鋼(株)
谷田 易久	〃
藤本 大智	〃
吉田 雄貴	佐久間特殊鋼(株)
中島 隆博	〃
村上 弘樹	(株)サンコー
高橋 基	ノボル鋼鉄(株)

広島地区

藤井 靖広	鎌田特殊鋼(株)
-------	----------

■平成26年度 特殊鋼販売技士3級合格者名簿

特殊鋼販売技士3級講座は次の各支部で開講し、平成26年7月10日(木)検定試験を実施いたしました。

講師各位の採点結果にもとづき平成26年7月25日(木)特殊鋼販売技士検定試験委員会で合否判定を行い下記の合格者数が決まりました。

支 部	受験者数	合格者数
東 京	98	94
大 阪	103	102
名古屋	110	106
東 北	1	0
北関東	20	18
静 岡	11	11
合 計	343	331

100点取得者

三谷 綾子 井上特殊鋼(株)
森 友哉 住商特殊鋼(株)

成績優良者

[東京支部]
半能 学 麻布鋼鉄(株)
大橋 幸子 山陽特殊製鋼(株)
廣田 和剛 下村特殊精工(株)
坂主 光 日立金属(株)
清水陽一郎 三井物産スチール(株)
山岸 諒平 〃
[大阪支部]
兼倉 厚子 清和鋼業(株)
田村 嘉章 大昭和精機(株)
和田 良作 (株)東洋金属熱錬工業所
中井依里子 南海鋼材(株)
辻川慎太郎 阪和興業(株)

東京支部

金子 弘志 秋山精鋼(株)
藤川 和紀 〃
宮田 大祐 〃
ダンアリウホウ 浅井産業(株)
半能 学 麻布鋼鉄(株)
松尾 嘉大 栗井鋼商事(株)
菅原 孝 伊藤忠丸紅鉄鋼(株)
大野佳緒里 井上特殊鋼(株)
篠田 麻衣 〃
高澤 明 〃
武田 匡史 〃
三角 慶丞 〃
大西 光龍 (株)U E X
多古 優 〃
村上 博士 王子製鉄(株)
白木 陽子 岡谷鋼機(株)
森 敦史 〃
小杉 良 (株)神戸製鋼所
林 祐太 〃
大河内正宏 佐藤商事(株)
鈴木 一史 〃
高見 良徳 〃
豊田 駿介 〃
兵頭 京 〃
山川 悟史 〃
稲垣 晃二 山陽特殊製鋼(株)
内田 巧 〃
大橋 幸子 〃
谷本 早彩 〃
濱ノ上瑤子 〃
島津 幹也 JFE商事(株)
及川 健智 ジェム・エンジニアリング(株)
大内 宏一 下村特殊精工(株)
北島 佐一 〃
廣田 和剛 〃
駒崎 雄大 (株)シルド
相原 和馬 住商スチール(株)
吉田 文音 大同興業(株)
松村 美波 大同特殊鋼(株)
野田 潤 〃

前田 佳代 〃
宮木 正敏 〃
眞塚 隆久 太平鋼材工業(株)
太田 一孝 大洋商事(株)
野中 翔平 〃
八杉 峻 辰巳屋興業(株)
邱 海清 (株)WTM
木下 和也 DKSHジャパン(株)
織茂 慎太郎 東海鋼鉄(株)
飯嶋 亮太 中川特殊鋼(株)
佐藤 瑞季 〃
鈴木 健太 〃
田吉 誠 〃
福嶋 茉衣 〃
中川 裕雅 〃
佐原 徹夫 (株)西山商店
遠藤 慎也 日鉄住金物産(株)
田付 裕之 〃
横田 薫 〃
加藤遣二郎 ノボル鋼鉄(株)
堀口 元希 野村鋼機(株)
高橋 勝也 橋永金属(株)
王 猛 阪和興業(株)
中村 善忠 〃
原田 拓海 〃
坂主 光 日立金属(株)
鈴木 達朗 日立金属アドメット(株)
植野 純一 日立金属工具鋼(株)
岡田 裕一 〃
植木 啓智 富士鋼機(株)
田村 雅士 藤田商事(株)
田中 友治 (株)ブルータス
松浦 秀典 〃
大橋 拓馬 紅忠スチール(株)
福原 早苗 ボーラー・ウッデホルム(株)
星野 晃平 〃
木村 純平 三井物産スチール(株)
清水陽一郎 〃
山岸 諒平 〃
渡邊謙太郎 〃
高島田 聡 三菱製鋼(株)
矢野 敦史 〃
岩本 諒馬 (株)メタルワン特殊鋼
上野 麻子 〃
齋藤 幹 〃
高橋 智子 〃
宮崎 雅江 〃
横井 祐輔 〃
古角 嘉規 〃
西尾 彰高 森田産商(株)
野井 孝典 ヤマト特殊鋼(株)
高崎 紀知 〃
村重俊一郎 〃
中川 恵子 個人申込

大阪支部

西 敦子 愛知製鋼(株)
青山 豊 青山特殊鋼(株)
坂口 嗣朗 赤尾鋼材(株)
斉藤 健一 伊勢鋼材(株)
松坂 浩司 伊藤忠丸紅鉄鋼(株)
小原 正嵩 〃
近藤 真司 井上鋼材(株)
北出 誠致 〃
三谷 綾子 〃
森山由実子 〃
前田 僚汰 〃
谷中 賀翔 〃
小西 正記 植田興業(株)
嶋崎 哲也 ウメトク(株)
福見 輝太 〃
田中 純貴 〃
森田 幸孝 大阪精工(株)
田川 亮太 〃
前田 友美 〃
松原 健太 岡谷鋼機(株)
村上 正吾 (株)関西ステンレスセンター
森園 和彦 関西磨鋼材(株)

木野本芳貴 木ノ本伸線(株)
井上 敬文 〃
石原 明 合鐵産業(株)
志水 平太 (株)神戸製鋼所
津金崇仁郎 〃
北野 拓也 (株)菰下銘断
森本 孟大 〃
熊取谷光利 〃
谷口 稔 〃
与那嶺 剛 小山鋼材(株)
大嶋 優介 櫻井鋼鉄(株)
宮内 聡史 〃
村井 義雄 佐々木鋼業(株)
香奈海勝彦 〃
福岡 秀将 佐藤商事(株)
川瀬 浩平 サムテック(株)
藤井 照明 三栄金属(株)
野村 卓也 〃
伊藤 誠亮 (株)サンユウ
藤井 幹大 山陽特殊製鋼(株)
小田 太一 三利特殊鋼(株)
斉藤 誠 〃
沖島 祐喜 三和特殊鋼(株)
岡本三枝子 〃
濱本 輝也 〃
山崎 信和 〃
伊東 洋平 神鋼商事(株)
古谷 優衣 〃
向園 孝志 新関西製鐵(株)
井関 康朗 住商特殊鋼(株)
森 友哉 〃
湯川 正嗣 (株)西鋼
村山 雅志 〃
中 弘樹 〃
浅田 充宏 〃
小野 修司 清和鋼業(株)
乗倉 厚子 〃
中西 雅己 〃
田村 嘉章 大昭和精機(株)
藤田 裕馬 大同興業(株)
李 杉 大同特殊鋼(株)
新田 郷司 田島スチール(株)
橋口 祐樹 辰巳屋興業(株)
辻本 亘 (株)辻本鋼商店
川中 直樹 デルタスティール(株)
和田 良作 (株)東洋金属熱錬工業所
福田 一郎 (株)トキワ商会
今西 友幸 〃
中谷 圭佑 南海鋼材(株)
中井 依里子 〃
越智 篤史 日清鋼業(株)
刈井 俊男 日鉄住金物産(株)
高濱 秀行 〃
野川 賢治 〃
伊藤 禎 日本高周波鋼業(株)
大崎 崇 日本ファスナー工業(株)
安達 司朗 (株)ハクロフォージング
宮本 芳則 阪神特殊鋼(株)
岡出 直樹 阪和興業(株)
平田 公紀 〃
中務 雄太 〃
新井 良典 〃
野口 幸太 〃
宮本 賢一 〃
辻川慎太郎 〃
竹内 裕人 日立金属アドメット(株)
小林裕一郎 〃
井上 直也 (株)堀田ハガネ
山本 知佳 〃
若林 由江 (株)ミヤジマ
遠山 康平 (株)メタルワン
片岡 孝介 (株)メタルワン特殊鋼
栗崎 弘照 〃
朴 成浩 山進産業(株)
秦 路奇 〃
細尾 和正 〃
細見 和人 〃
田中 茂幸 〃
山本 延明 (株)吉村鋼材

吉田 和洋 吉田ハガネ店

名古屋支部

鈴木 貴士 愛鋼(株)
大島 健斗 愛知製鋼(株)
堀田 有里 〃
峰岸 大樹 〃
戸田 史宣 〃
中村 尚俊 〃
杉浦 裕樹 〃
永井 利和 〃
藤川 徳之 〃
大川 創地 浅井産業(株)
大槻 龍生 〃
小林慎一郎 〃
木村 淳 (株)アレックカワイ
長島 幹人 伊藤忠丸紅鉄鋼(株)
尾形 明彦 ウメトク(株)
林 朋大 〃
渡会 裕一 〃
梅本紗矢子 小木曽工業(株)
宇野 智子 川本鋼材(株)
久保輝余子 〃
小澤 卓朗 〃
佐潟 潤 〃
西浦 智美 〃
菱田衣里子 〃
吉田 京平 クマガイ特殊鋼(株)
山内 秀紀 グリーンスチール(株)
山本 慎吾 〃
熊澤 貴博 黒田メカメタル(株)
江上 宜輝 佐久間特殊鋼(株)
大倉 修 〃
小野 和也 〃
糟谷 直輝 〃
木村 昌稔 〃
久野ほなみ 〃
近藤 有紗 〃
篠村 芳樹 〃
長谷川拓馬 〃
原田舞衣子 〃
山本 祐大 〃
吉田 貴穂 〃
池田 拓真 桜井興産(株)
鬼頭 優斗 〃
相川 昌範 サハシ特殊鋼(株)
神田 淳起 〃
岸 諒太郎 〃
伊藤 美紗 (株)三悦
宮崎 悠 〃
富田 綱作 鈴豊精鋼(株)
井手 崇人 鈴秀工業(株)
小島 直也 〃
関 拓郎 〃
長嶺 睦夫 〃
松山 哲郎 〃
池田 学 (株)スチールポリッシュ
水上 紀之 第一熱処理工業(株)
大柳 躍棟 大同興業(株)
木村 謙介 〃
陳 佑碩 〃
高村 謙一 〃
野口 智康 〃
松本 匠平 〃
倉知 然輔 大同特殊鋼(株)
早坂 健 〃
板垣 貴幸 〃
猪野 祥太 〃
岩崎 友哉 〃
倉田 澪 〃
砂川 慶成 〃
牧野 裕太 〃
村田 謙治 〃
森島 進也 〃
石岡 篤志 〃
佐藤 寛之 〃
嶋村 涉 〃
小島 美香 (株)大同分析リサーチ

佐藤 仁志 〃
西 剛史 〃
松田 篤典 (株)タカギスチール
広瀬 まこ 孟 鋼鉄(株)
早川 哲平 〃
北村 泰之 辰巳屋興業(株)
樋 芳之 〃
長谷川 久 チハラ産業(株)
大竹 祥平 豊田通商(株)
肖 笑 〃
湯澤 辰幸 〃
畑中 由香 中川特殊鋼(株)
吉田 美保 〃
奥山 誠知 中島特殊鋼(株)
桂木 哲平 〃
大池 一輝 名古屋特殊鋼(株)
竹内 春彦 日鉄住金物産特殊鋼中部(株)

山下 宜紀 日本金型材(株)
川村 直也 日比鋼材(株)
溝口 貴洋 藤巻鋼材(株)
小林 和生 藤巻工範(株)
平田 祐介 前田鐵鋼(株)
田中 利明 松岡特殊鋼(株)
荒川 佳彦 宮崎精鋼(株)
平松 輝隆 〃
赤堀 公亮 (株)山一ハガネ
小高 諒 〃
寺平 賢人 〃
村瀬 剛平 〃
渡辺 友莉 〃
上田 あい (株)ユー・テクノロジー

北関東支部
小椋 祐輔 井上特殊鋼(株)
工藤 建樹 碓井鋼材(株)
川上 拓受 小山鋼材(株)
清祐 太一 〃
小林 泰徳 (株)カムス
片山 翔貴 〃
金子 雄介 〃
竜野 陽 〃
大矢 貢二 〃
樋口 利彦 〃
筒井 元氣 〃
原 省太 清水特殊鋼(株)
新井 顕 蔵前産業(株)
濱口 悦子 大同DMソリューション(株)
文 勇大 野村鋼機(株)

森元 広之 (株)ハマノ
福田 聡 日立金属工具鋼(株)
久保田和秀 フナダ特殊鋼(株)

静岡支部
牧野 高大 青山特殊鋼(株)
木本 雄基 〃
石原 陽平 井上特殊鋼(株)
植松 真平 小林鋼材(株)
府川 益朗 〃
岩渕 麻耶 (株)サンコー
鈴木 誠 (株)ネオスチール
宮城島敏之 〃
島津伊奈岐 〃
八木 康輔 ノボル鋼鉄(株)
大塚 祥範 〃

平成26年度ドイツ&チェコ特殊鋼関連業界視察研修のご報告

全特協は従来より、特殊鋼流通業界の健全な発展を図るその一環として、米国・欧州・台湾・韓国・タイ・中国・インドネシア・ベトナム・マレーシアなどの特殊鋼の流通加工業の実態を調査すると共に、特殊鋼流通関連業者との交流・協力を行ってきました。海外の特殊鋼関連業者と意見交換等の交流を行うことにより、①海外への視野を広めること。②海外展開への可能性を検討すること。③我が国との業界との相違を知ること。などが目的です。

本年度は、流通先進国であるドイツの特殊鋼流通業者やチェコの歴史ある自動車メーカーなどを視察することに致しました。参加会社の今後の経営に役立つ発想を養って頂くと共に、我々業界の発展に繋がるヒントが見つかったのではないのでしょうか。全特協・内外交流委員会では、来年も良い企画を考え、会員各位と交流を深め、視野をも広げてまいりたいと思っております。

【視察研修の概要】

開催日時：平成26年9月13日(土)～9月20日(土)

主な視察行程：

- ・9/13 東京(羽田)発→ミュンヘン→ベルリン着
- ・9/14 ベルリン市内視察→デュッセルドルフ
- ・9/15 「ホルツリヒテル」視察→「ティッセン・クルップメタルサーブ」視察
- ・9/16 「ヘルシュタ・シュタール」視察→ブラハ
- ・9/17 ブラハ市内視察
- ・9/18 「シュコダ・オート」視察→フランクフルト
- ・9/19 「オートメカニカ2014」視察→東京へ
- ・9/20 東京(羽田)着・解散

ホルツリヒテル

創業1817年という老舗。従業員145名、立体倉庫ラック3,400ケース、在庫約35,000tを誇る。ステンレス薄板の研磨加工ライン、空圧関連のシャフトやパイプの加工などがあり、販売量は13,000～15,000t/月とのこと。



倉庫内

ティッセン・クルップメタルサーブ

炭素鋼、合金鋼、ステンレス鋼、チタン、ニッケル合金、アルミなど全国的な材料卸業者。30,000～35,000tの在庫のうち22,000tラック置きで高さ17段の立体倉庫は圧巻。従業員150名が3シフト交替制で24時間稼働しているとのこと。



事務所棟

ヘルシュタ・シュタール

1929年創業、構造用鋼を主体とした鉄鋼流通会社。在庫17,000t、条鋼類は4～850Φを常備している。材料の仕入れメーカーは30%がドイツで、他は中国材が多く日本やウクライナからも輸入しているとのこと。



広々とした在庫倉庫

シュコダ・オート

創業1895年の自動車メーカー。プレスライン、溶接ライン、アッセンブリーラインおよび自転車から最新自動車等の展示を見学。現在の株主は100%フォルクスワーゲン(VW)で、生産台数は2013年度921千台/年、2018年度1500千台/年を目標としている。輸出が93%で主な輸出先はロシア、ドイツ、イギリスなどである。溶接ラインは90%が自動ロボットで日本製(FANUC)またはドイツ製であった。



アッセンブリーラインの映像

オートメカニカ2014

自動車部品・システム・修理・付属品などを展示するオートメカニカ展。日系企業は、Kanack Planningu Corporetion、Hitachi Automotive Systems,Ltd.、FUJIKOKI CORPORATION、Taiyo Corporetion、Toray Industries,Inc.、Shinano Inc.、MEIJISANGYO COMPANY、DENSO、HITACHI、NTNなどが出展していた。



日系企業の展示

理事会・委員会報告

■理事会

○第5回理事会

日 時：平成26年10月30日 16：00～17：00 於：鉄鋼会館
内 容：第1号議案：平成26年度上期事業報告書承認の件
第2号議案：平成26年度上期収支決算書承認の件
第3号議案：協会創立20周年記念行事について
第4号議案：来年の定時総会について

報告事項：委員会報告

情報提供：第6回「ものづくり日本大賞」の募集について（経済産業省）

■連絡会

○経済産業省との連絡会

日 時：平成26年10月30日 14：00～15：00 於：鉄鋼会館
内 容：①協会側各自自己紹介
②最近の経済政策について
③最近の鉄鋼業界を巡る動向等について
④各支部の現況と市況説明
⑤その他（事務局報告等）

■運営委員会

○第6回運営委員会

日 時：平成26年10月30日 15：00～16：00 於：鉄鋼会館
内 容：①平成26年度上期事業報告書及び収支決算について
②当面の協会におけるスケジュールについて
・平成27年度第3回定時総会の開催について
・協会創立20周年記念事業について理事の交代について
③今後の協会運営について（組織再編、収支状況改善、会員勧誘等）
④その他（事務局報告等）

■総務委員会

第5回総務委員会

日 時：平成26年10月22日 16：00～17：30 於：鉄鋼会館
内 容：①平成26年度上期の事業内容について
②平成26年度上期の収支決算について
③来年の第3回通常総会の開催について
④協会20周年事業について
⑤今後の協会運営について
⑥その他（事務局報告等）

■人材育成委員会

○第4回人材育成委員会

日 時：平成26年7月18日 15：00～17：00 於：安保ホール
内 容：①平成26年度人材育成事業年間予定報告について
②平成25年度収支実績、平成26年度事業計画及び予算について
③特殊鋼販売技士、販売加工技士の制度改定版発行について
④指導要領作成WG進捗状況報告について
⑤平成25年度販売加工技士「実務編」検定試験結果報告について
⑥特殊鋼加工技術実務研修書改訂方法について

○第5回人材育成委員会

日 時：平成26年11月19日 15：00～17：00 於：大阪・鉄鋼会館
内 容：①平成26年度人材育成事業年間実績見込みについて
②研修講座関連の支部別実施状況の調査について
③指導要領作成WGの活動報告について
④特殊鋼販売技士1級資格認定のアピール方法について
⑤平成27年度事業計画（案）及び予算（案）の考え方について
⑥販売技士制度の課題について

【特殊鋼販売技士検定試験委員会】

○第24回指導要領作成ワーキンググループ

日 時：平成26年7月16日 14：00～17：00 於：安保ホール
内 容：①特殊鋼販売技士2級指導要領メンテ確認について
②特殊鋼販売技士1級指導要領作成について
③平成26年度人材育成事業年間予定及び講師一覧表について

○3級合否判定会議

日 時：平成26年7月24日 15：00～16：30 於：鉄鋼会館
内 容：①特殊鋼販売技士3級検定試験の合否判定について
②講師講評
③検定試験委員長総評
④人材育成委員長コメント

○2級講師事前打合せ

日 時：平成26年8月20日 15：00～16：10 於：鉄鋼会館
内 容：①平成26年度人材育成事業の年間スケジュールについて
②特殊鋼販売技士2級研修講座講師事前打合せ
③その他

○第25回指導要領作成ワーキンググループ

日 時：平成26年9月9日 14：00～17：00 於：安保ホール
内 容：①平成26年度人材育成事業年間予定表について
②第24回WGの議事録について
③特殊鋼販売技士1級指導要領作成について
④下期のWG会議日程について

○2級問題選定会議

日 時：平成26年9月11日 15：00～16：30 於：鉄鋼会館
内 容：①2級研修講座の検定試験問題について
②特殊鋼販売技士2級スケジュールについて
③その他

○第26回指導要領作成ワーキンググループ

日 時：平成26年10月14日 14：00～17：00 於：安保ホール
内 容：①第25回WGの議事録について
②特殊鋼販売技士1級指導要領作成について
③次回のWG会議日程について

○2級合否判定会議

日 時：平成26年11月5日 15：00～16：30 於：鉄鋼会館
内 容：①特殊鋼販売技士2級検定試験の合否判定について
②講師講評
③検定試験委員長総評
④人材育成委員長コメント

■調査研究委員会

○第6回調査研究委員会

日 時：平成26年9月29日 15：00～17：00 於：安保ホール
内 容：①第70回（4-6月）景況アンケート調査報告
②第71回（7-9月）景況アンケートの設問について
③次回委員会日程について

■内外交流委員会

○ドイツ & チェコ特殊鋼関連業界視察研修

日 時：平成26年9月13～20日
内 容：①ドイツの特殊鋼流通業者3社見学
②チェコの自動車メーカー、シュコダオート見学
③フランクフルトのオートメカニカ2014展示会見学
④ベルリン、プラハ市内観光

■経営効率化委員会

○第1回経営効率化委員会

日 時：平成26年10月8日 15：00～17：00 於：安保ホール
内 容：①委員長の選任について
②平成25年度事業実績及び収支実績について
③平成26年度事業計画及び予算について
④今後の経営効率化事業の検討について

○第2回経営効率化委員会

日 時：平成26年11月14日 15：00～17：00 於：安保ホール
内 容：①経営効率化事業についての緊急アンケート結果報告
②今後の経営効率化事業の検討について
③その他

■広報委員会

○第4回広報委員会

日 時：平成26年11月11日 15：00～17：00 於：安保ホール
内 容：①広報誌「すてぃーる54号」の校正・確認等について
②広報誌「すてぃーる55号」の記事内容について
③平成27年度事業計画（案）及び予算（案）の考え方について

事務局だより

① 平成27年「新年賀詞交換会」開催スケジュールについて

来年の賀詞交換会は本部及び各支部において以下の内容にて開催される予定ですので是非ご出席ください。

本支部	開催日程	会場
本部及び東京支部	平成27年1月20日(火)	グランドヒル市ヶ谷
大阪支部	平成27年1月5日(月)	リーガロイヤルホテル
名古屋支部	平成27年1月7日(水)	名古屋観光ホテル
東北支部	平成27年1月22日(木)	仙台国際ホテル
北関東支部	平成27年2月予定	未定
静岡支部	平成27年2月予定	静岡グランドホテル中島屋
九州支部	平成27年1月6日(火)	ホテルオークラ福岡

詳細につきましては各支部事務局にお問合せ願います。

② 特殊鋼販売技士「1級研修講座」の開講について

平成26年度は、本文に掲載してますように「特殊鋼販売技士3級及び2級の研修講座」を開講し、検定試験の結果3級331名、2級221名の資格認定者が新たに誕生しております。

そして、平成27年1月下旬～3月に掛けて隔年開催の「1級研修講座」を各支部にて開講する予定です。研修内容は「特殊鋼の特性と事故例」で、鋼種別のグループにて14時間の研修講座を習得した後、3月25日全国一斉に検定試験を実施します。受講申し込み時にAグループ：構造用鋼・ばね鋼、Bグループ：工具鋼・軸受鋼、Cグループ：ステンレス鋼・耐熱鋼の何れかのグループを選択していただく、鋼種別グループでの資格認定制度となっています。受講資格は、昨年度以前に「2級研修講座」を受講し「2級資格認定」を有する者となっています。

現在、東京・大阪・名古屋・北関東・九州の各支部事務局より開講のご案内をしておりますので、受講を希望される方は開講予定の各支部事務局へお申込みください。(広島地区は本部事務局へお申込み下さい)

③ JISハンドブック及び定期刊行物購入斡旋のお知らせ

日本規格協会発行の「JISハンドブック」及び定期刊行物の購入斡旋を特別価格(定価の20%引き)で実施しております。是非ご利用ください。

お問合せ、申し込みは本部事務局担当片野までご連絡ください。なお、斡旋は年内にて終了いたします。

(Tel : 03-3669-5803、Fax : 03-3669-0395)

編集後記

今年は、夏が短く秋がながかったように感じます。天災による被害が多かった事も特筆すべきです。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

「すてい〜る 54号」が皆様に届くころには、師走の大変お忙しい時期だと思います。今号は、各地区での「賛助会員様との交流会」の様様を主体にドイツ、チェコ視察研修の様子などを掲載しております。他に経営者の皆様に興味を持たれる会員会社の海外展開事例を継続して載せております。

アベノミクス効果の、円安、株高で大手企業を中心に景

気回復が堅調化してきました。しかしながら一般消費は消費税のUPにより冷え込んでいるようです。政府の景気対策に期待がよせられているところです。選挙結果も気になります。我々特殊鋼流通業界は、「少し良くなった」という所でしょうか。来年以降、ユーザーの明暗等一部不安要素もありますが、オリンピック、震災復興等、特殊鋼需要は大きく見れば明るいと考えてます。

皆様にとって来年が更に良い年であることをお祈りしています。

広報委員会委員長・広報誌発行責任者／久木田 至